

家園

字体作者：周 慧珺

第18号



特定非営利活動法人

中国帰国者・日中友好の会

〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7

ペガサスミシンビル1階

TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358



2017 年お花見

目 次

★ NPO 活動写真	2
★ 日本と再生	3
★ 新年会によせて	4
★ 「日中国交正常化 45 年」記念訪中 ・ 中国画.....	5
★ いつまでも忘れることのできない思い出.....	6
★ 日本で生活して感動したこと.....	7
★ 本会活動記録・お知らせ・編集後記.....	8

NPO 活動写真

(撮影：入澤美和子)

台東区民センター
にて新年会



浅草介護老人保健施設へ慰問出演

日本と再生

映画「日本と再生 光と風のギガワット作戦」を創りあげて

20年にわたって原発の危険を訴え、全国で原発差し止め訴訟を展開してきた私は、国民に原発問題を理解してもらうために、映画「日本と原発 私たちは原発で幸せですか」「日本と原発 4年後」で日本の原発の問題点を全て描き尽くしました。原発問題の理解が進んだのは良いけれど、「原発が危険で高くて不要であることはよく分かった。でも原発を無くしたあとのエネルギーはどうしたらいいの？」との問いに直面しました。その答えは「原発を無くしたあと、自然エネルギーで十分にやっていけることが分かる映画を作ろう！」です。

私は、北から南、西から東へと、日本と世界を駆け巡りました。自然エネルギーの歴史を切り拓いたパイオニアや、自然エネルギーの最前線で挑戦する人々を訪ね歩き、「日本と再生 光と風のギガワット作戦」を創りあげました。

世界では、自然エネルギーが実用化していることはもちろん、これほどまでに急速に普及し、大きな変化を起こしている現実を目の当たりにし、私は大変驚きました。私は、その変化に背を向ける日本に、危機感を覚えました。「自然エネルギーは天気まかせで不安定」「自然エネルギーは高つく」「ドイツの脱原発、自然エネルギーはフランスから原発電気を買っているからできるインチキ」等々の悪口を実証的に論破すること、そして自然エネルギーを馬鹿にしている日本経済界の経済人に自然エネルギー発電は実際には儲かるということを分かってもらうのも、この映画の大きな目的です。私はこの映画を創っていく過程で「自然エネルギーは単に原発の代替物ではなく、壮大で美しく安全で豊かな新しい社会への入口なのだ」と気がつきました。この映画が日本のエネルギー政策の流れの転換のきっかけになって欲しいと心から願っています。



文：弁護士・映画監督 河合弘之
制作影片『日本と再生 光と風のギガワット作戦』有感

20年来、为废除原子能发电（以下：原発）在全国开展了大规模的运动，充分地阐述了原子核电站给人类带来的巨大危害，为了让国民对原发问题有进一步的了解，我们开始制作影片《日本と原発，原发能否给人类带来幸福？》、《日本と原発 4年以后》，在这两部影片中描述了所有日本原发产生的问题。同时，对原发有了深刻的了解。这显然是个好事，可是，也有些人提出反对意见，他们指出“原发具有高度的危险性。可是废除原发后，用什么来发电呢？”新的问题又摆在我们面前。这个回答是，只有制作一部让大家懂得“取消原发

以后，可以利用自然能源发电也能够满足我们的供电需求这样的影片！”。从那时起、我就开始从南到北、从东到西、从日本国内到其他国家奔走巡回。经过走访了一些自然能发电历史的开拓先锋者们，还有开发自然能最前线的挑战者们，听取了他们的意见，亲眼目睹了这些国家使用自然能发电的事实。最后，影片“日本と再生 光和风的电子发电作战”终于和大家见面了。

正象影片当中描述的在世界许多国家中，不仅导入自然能发电并达到实用化，而且使我感到震惊的是自然能发电的普及如此突飞猛进的现实，在世界发生如此巨大变化的事实中，日本政府却无动于衷，这使人感到了一种危机。也有人出来反对，说什么“自然能源随着天气变化会产生不安定的现象”“利用自然能发电价格昂贵、成本高”“德国之所以摆脱了原子核发电，利用自然能发电，是因为他们采取了从法国进口原子电力的手法”等等，对这些偏见，我们通过影片充分地证实了这些说法是错误的，同时也回击了种种谬论。还有日本经济界一些人鼓吹什么“自然能发电不赚钱”，为了彻底粉碎这些谬论，这也是我们制作这部影片的最大目的。通过制作这部影片我还感受到“利用自然能源不仅仅是为了取代原发，更重要的是使我们国家和人民迈向一个美丽富饶，安全壮观的新社会”。我衷心地希望这部影片将起到“改变日本能源发电政策”的作用。

（翻译：佐藤麗子）

新年会に寄せて

孫蘭香

明けまして、新年おめでとうございます！

春風を春光天地に満ちて快い時候、2月4日認定NPO法人中国帰国者・日中友好の会の新年会は開催されました。これは認定NPO法人になってから始めての新年会です。中国駐日本大使館から、また、各界の友好来賓はご出席されました。

池田澄江理事長から挨拶をしました。昨年一年のNPOの活動を報告しました。ここまで頑張ってきた皆さんに感謝いたします。また、長い間多大なご支援をいただいているご来賓の方々に心から御礼を申し上げます。

中国駐日本大使館政治部参赞張社平さんから情熱あふれるお話を頂戴いたしました。本会は日中友好の架け橋として尽力したことを評価頂きました。また、第二次世界戦争の残留孤児は歴史の悲劇の犠牲者である。我々は歴史を忘れるではないことは、両国の憎しみを延長することではなく、このような戦争は二度となつてはならない教訓として次世帯に伝えるべきであります。

本会監事河合弘之は「NPOの一員として、皆さんの笑顔を見てとっても嬉しくて光栄です」、と言ってくださいました。

その他のご来賓の皆様からもご挨拶を頂きました。日中協会の白西紳一郎理事長からのお話は会場の皆さんに共感を与えました。白西さんは「今年は日中両国国交正常化45周年になります。また、盧溝橋事変と南京大虐殺80周年になる年です。我々は日本人としてこの歴史を忘れるではない。この歴史を警鐘として、戦争をあってはならないと後世に伝授することによって、中国の国民の心の傷を治されるはずである。これは日中友好を実現する証です。正義感を持つ日本人であります。日本と中国は一衣帯水の隣国です。日中友好は両国民の切の願いであります。

中国の養父母は散々苦しめられながら数千人の日本人孤児を育ててくれました；その孤児たちは日本に帰ってきた後、正義感を持つ方々は残留孤児たちを理解し、支援してくれました。

歴史を直面して、戦争を反対し、世界平和を維持する床は私たち友の責任であります。私たちのたゆまない努力によって、日中両国日中両国永遠に友好な目標を実現できよう乾杯、皆さんのご健康に乾杯。

盛大な新年会でした。皆さんはコップを持って、乾杯の音頭あげました、

一月、お正月に乾杯！

二月、春節に乾杯！

三月、桜咲くに乾杯！

皆さんは、しゃべっても、しゃべっても、しきれない話がある；

飲んでも、飲んでも、飲みきれない美味しい酒がある。

その後、精彩な歌と華麗な踊りの披露がありました。この演目は各クラスの先生方に、日々教わったものです：独唱・合唱・舞蹈・太極拳・楽器演奏・数多くの演技を披露されました。盛大な拍手を受けました。

酔っぱらうまで酒を飲む老人たちは、いえや、老人ではないや、まるで青年のようですね！その後、北野先生、栗山先生、唐雪媛先生、そして著名な作曲家新垣隆先生とオペラ歌手の古川精一様も素晴らしい歌と演奏を送っていただきました。

いつまでも唄い続けて、踊り続ける、私たちはまだ若い、また元気です！盛大の拍手と歓声の中で2017年の新年会の幕は降りました。また、来年会いましょう。

(翻訳：佐藤麗子)

迎着扑面而来的春风，2月4日我们欢聚一堂，庆祝丁酉年新春的到来。

这是本会作为认定NPO法人后的第一个新年会，中国驻日本大使馆及日本各界的友好人士出席了新年会。

池田理事长首先致辞，总结了本会一年来的工作和取得的成绩。认定NPO法人资格的取得是经过大家的共同努力，特别感谢一直关心、帮助我们的日中友好人士，没有他们的支持，我们的步履会更加艰难。

中国驻日本大使馆政治部参赞张社平发表了热情洋溢的讲话，高度赞扬了本会为中日友好所做的努力。指出：战争孤儿是历史的悲剧，我们不忘历史不是为了延续仇恨，而是为了防止这样的悲剧再次重演。

NPO法人“中国归国者·日中友好会”监事河合弘之律师说：“看到大家的笑脸非常高兴，做为其中的一员而自豪。”

与会的日本各界友好人士和代表也纷纷发言，表达了日中友好的美好愿望。日中协会理事长白西绅一郎先生的讲话引起了与会者的共鸣，他说：“今年是日中两国邦交正常化45周年，也是卢沟桥事变和南京大屠杀80周年。我们作为日本人不应该忘记这段历史，只有我们正视这段历史并引以为戒，才能让中国人渐渐忘掉这段刻骨的伤痛，日中友好才能真正实现。”相信这是有正义感的日本人的心声。中国和日本一衣带水，中日友好是众望所归。无论是日本人还是中国人都都不愿意死死抱住仇恨不放。否则，中国人就不会含辛茹苦地养育几千名日本孤儿；今天也不会有那么多善良、正直的日本人理解、帮助我们这些被遗弃在中国几十年的孤儿和孤儿的后代。正视历史事实，反对战争，维护世界和平是我们的共同责任。希望通过我们这一代人的不懈努力，促进中国和日本这两个同样使用方块字（汉字）、有着很多相同民间习俗的近邻和平友好的目标早日实现。

发言结束后新年会进入另一个高潮，大家举起盛满友谊、祝福的酒杯：

一月为正月干杯！

二月为春节干杯！

三月为樱花干杯！

道不尽的友情，喝不完的美酒。

接下来，本会组织的精彩演出开始了。在各位老师的精心指导下，独唱、合唱、舞蹈、太极拳、器乐演奏轮番上场，赢得一阵阵掌声。“醉里吴音相媚好，白发谁家翁媪”，这哪里是翁媪，分明个个青春年少。

北野老师、栗山老师、唐雪媛老师和著名作曲家新垣隆先生，歌唱家古川精一也为大家献上了精彩的节目。

歌尽情地唱，舞尽情地跳。我们还年轻，我们更健康！

在掌声和欢笑声中2017年新年会落下帷幕，期待来年朋友们再相聚

「日中国交正常化 45 周年」記念訪中

宮崎慶文

今年是中国日邦交正常化 45 周年。我们「认定 NPO 法人中国归国者・日中友好之会」决定以「日中友好・感恩访华团」的名义于 6 月 22 日到 28 日来华为期一周，到哈尔滨和北京与当地大学和日本遗孤养父母联谊会举办纪念和交流活动及拜谒中国养父母墓地等事宜。访华团的组成大部分是 70 多年前中国残留日本人孤儿和中国人配偶者及日中友好人士。人数在 100 人左右。

我们的计划是，先去哈尔滨，与哈尔滨日本人遗孤中国养父母联谊会和有关大学师生举行纪念活动，并同台演出。去方正县拜谒中国养父母墓碑。6 月 25 日去北京，访问北京的有关大学，和师生们举办纪念活动，并同台演出。

在哈尔滨和北京的活动，我们将演出自己创作的朗诵剧《孤儿的泪》和舞蹈剧《中国妈妈》。其内容主要表现我们残留孤儿反对日本发动的侵华战争，不忘中国人民和中国养父母的养育之恩。

我们决心在有生之年，为日中两国人民世代友好贡献我们的绵薄之力，为维护日中两国的和平友好做出我们的努力。这次组团再次访华，就是本着上述理念，向中国人民表达我们反对战争，祈求和平和永远不忘中国人民和中国养父母的养育之恩强烈愿望。

「日中国交正常化45周年」記念訪中

今年是中国日邦交正常化45周年節目である。我々＜NPO 法人中国帰国者・日中友好の会＞は「日中友好・訪中感謝団」をつかって、6月22日から28日までの一週間中国に訪問する。ハルビンと北京で、関連大学とハルビン市日本残留孤児養父母連誼会による記念行事を行い、同じ舞台に出演する。今回の訪中国は本会の池田澄江理事長に率いられ、全国各地からの孤児代表、中国人配偶者および日中友好にかかわる関係者103ほどで成り立っている。

訪中計画は、まずハルビンに行き、現地の大学、日本残留孤児養父母連誼会と共同で記念行事を行う。その後、方正県に行き中国養父母公墓へ墓参する。6月25日に北京に行き、北京大学などを訪問し、先生や生徒たちと記念行事を行う。

ハルビンと北京での活動中、我々は自ら創作した朗読劇「孤児の涙」と舞踊劇「中国の母」を演出する。その内容は我々残留孤児の日本による他国へ侵略に反対すること、中国人民や中国養父母への養育の恩についてである。

我々は生きているうちに、微力ながら、日中両国人民の世代々の友好、両国間の平和を守るために尽力したい。今回の三度目の訪中は、この理念をもとに、中国人民に対して、我々は戦争に反対し、平和を祈願し、そして中国人民と中国養父母の養育の恩を永遠に忘れないことを伝えたい。

(翻訳：張狄)



牡丹

中国画

画家紹介

松川淑子 中国黒竜江省ハルビン市生まれ、1968年ハルビン師範大学芸術学部美術学科卒業
中国美術家協会会員

1991年2月、中国残留孤児として日本に帰国

帰国の翌年、日本美術展に出展して、新人賞を受賞

これまで、10回以上の個展を開催した

日本と中国、二つの祖国を持つ松川淑子氏は、日中間の文化芸術交流の発展に寄与すべく活躍を続け

いつも忘れることのできない思い出

柳 智子

私の夫の母は新潟の出身で、戦争時開拓団の一員として、中国に渡りました。しかし、戦後故郷の日本に帰れなくなり、異国の地に残されました。中国での生活は、想像できないくらい苦しく、夫が7歳のとき、母が結核となり、夫の手を握って涙があふれながら、片言の中国語で「日本は私の故郷だ、あなたは大きくなったら、是非私の代わりに帰ってください」。母は悔しく寂しくて、とても子供たちが恋しくて、37歳の若さで亡くなりました。私の家族三人は、中国残留家族として今から18年前中国ハルビンから自費で日本に帰国しました。

色々な支援がなく、また言葉の壁で夫の母の実家の親戚からも敬遠されました。言葉が通じない、仕事もなく、これからの生活について家族で話し合いました。どんなに苦しくても、夫の母の遺言どおり日本に生活しよう。まず、日本語を勉強すること最優先と決めました。言葉をあまり使わない工場の仕事に就きましたが、朝5語教室に通いました。18年間勉強して、優秀な成した。今は一流企業に勤

日本の生活に慣れ、幸矢先、役所の健康診断で三回手術をしました。私放射線の治療を受け、仕私はNP0「中国帰国者・日の活動に参加しています。歌や踊り、パソコンや太動で晩年の生活を楽しん

「帰国者孤児の家」で歌を発表する機会があっ評を戴きました。特に忘国に残された日本人孤児「中国の媽媽」を発表して涙を流しながら見てくれた事です。

記録では、当時4,000人の日本人孤児が中国に残されたと言われています。私はこの脚本を見たとき、中国の養父母が広い心を持って、対戦国の孤児を自分の子供のように育て、偉大な愛で日本人孤児の命を救ってくれたと思いました。

私のこの舞踊劇に参加できて非常に光栄に思います。練習を始めた当時は、私は乳がんの手術が終わって、治療期間中でしたので、何時間も続く練習は体力勝負でした。素人の私にとっては練習がとても厳しかったです。しかし、この歴史を良く知っている私たちだからこそ、歯を食いしばって、自分でうまく表現したかったのです。この歴史を知らない人にも、私たちの戦争反対、平和を望むという強い気持ちを分かって欲しい、更にこの思いが次の世代へと続いて欲しいのです。

私は日本と中国の架け橋として少しでも役に立ちたいです。



せな日々を過ごしている夫は大腸がんがみつきり、自身も乳がんで手術をし、事を辞めました。その後、中友好の会「孤児の家」毎週日本語の勉強を始め、極拳など、さまざまな活でいます。

習った中国語や日本語のて、日本の合唱団から好れられないのは終戦後中の物語を舞踊劇にしたた時、日本の観客が感動

日本で生活して感動したこと

波多野 晶子



私は、日本に帰ってきて30年過ごしました。感動したことがいっぱいあります。

これまで話したいけれど、たくさんの事をなかなか話せませんでした。

今日の素晴らしいチャンスに、感動したことを少しお話します。

私は、日本の生活でいろいろな事を心の中に感じています。

日本語教室での先生のやさしさ、道を探している時に皆さんがかけてくれた親切さ、病院のお医者さんが病気の説明の図を書いてくれて、すごくわかりやすか

ったこと、看護師さんの親切さ、本当に皆さんにお世話になりました。感動でいっぱいです。

例えば、私は、2015年夏にみんなで一緒に台湾に行くことになりました。9時出発の飛行機の為、7時30分に成田空港第2ターミナルで集合です。

私は立川から行くため、ちょっと？ いいえ、私にとってはかなり遠いのです。短い時間に電車でどのように乗って行こうかなって、迷っていました。それで、立川駅のカウンターに行ってみました。

女性の駅員さんがすごく親切で、丁寧に電車の駅名・順番を図に書いてくれました。ゆっくりと説明してくれました。これが拡大したものです。

「出発時間5時10分、立川から中央線3番線で東京方面に乗って、神田駅6時6分到着。6時12分にJR山の手線で上野・池袋方面に乗って、日暮里駅6時21分着です。6時35分に京成特急スカイライナー3号で空港方面に乗って、7時11分に成田空港第2ターミナルに到着。」と説明してくれました。

私はひと目見て、ああ、これはわかりやすい、本当に相談に来て良かったと思いました。

出発当日、私は、この図を見て電車に乗り、順調に7時11分に空港に到着しました。みんなは、私が遠いから、間に合うかなと心配してくれていました。私の姿が見えると、ああ、早く来た、19分も早く来た、と。

台湾への旅行はとても楽しかったです。とても良い記念になりました。無事に台湾へ出発できたのも、駅員さんが上手に図を書いてくれてわかりやすかったからです。助かりました。本当に心から感謝しています。今でもこの図を大切に保管しています。

もう一つの例をお話しします。

私が目の前で見た電車の中の事です。

若い人がお年寄り・妊婦さん・障害のある方などに席を譲り、私もお世話になったことがあります。とても感動しました。

そして私はもっと感動した光景に出会いました。

4, 5歳の小さな男の子がお母さんと一緒に電車に乗ってきました。席が空いているにも関わらず、お母さんは男の子に「男だからガンバッテ、お父さんはいつもガンバッテ坐らないよ」と言い、立たせていたのです。

私の孫たちにも聞いてみました。孫達は「もちろんだよ、私と友達が学校へ行くとき座ることはないよ、私たちは一番若いから」。

私の小学校に上がる前の孫も、電車の中でも席を譲ったよ。と言います。これは小さな時から教えられた、日本の国民の素晴らしい習慣だと感じます

日本に帰って大変なこともたくさん経験しましたが、今は私の子供達、孫たちを日本で育てることが出来て本当に良かったと感謝しています。

「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2016年12月～2017年4月)

12月25日	日中映画協会主催「クリスマス・新年」公演会に日本舞踊班・楽器班・合唱班が出演。
1月5日	中国中央テレビに池田取材いただく。
1/26～2/4	浙江省新聞出版広電報主編李曉方氏が取材の為来会。
1月26日	NHKホール松山パレ団「白鳥の湖」200人ご招待戴き、鑑賞。
2月4日	台東区民会館にて2017年新年会開催。計280(来賓50名含め)名参加。
2月16日	呉珠響さんによる第3回健康講座を開催。(来期以降も開催予定)
2月22日	中国大使館主催 日中友好7団体2017年新年会に池田・宇都宮・過能が参加。
2月26日	セントラルライオンズクラブ主催「第32回中国帰国者日本語発表会」に波多野晶子・柳智子が発表。張が通訳を勤める。
3月3日	中国大使館主催「3・8国際婦人デーパーティ」に池田・張が参加。
4月1日	本会B1活動室にて弁護士鈴木経夫ご参加いただき食事交流会実施。その後、竹町公園にてお花見。雨天の為上野公園観桜会を変更。
4月12日	浅草介護老人保健施設に慰問出演。

※お知らせ※

★NPO第9回総会を開催★

日時:6月17日PM13:30

場所:本会B1F

★「北京・ハルビンへの報恩・感謝の旅」催行(申込締切)★

6/22～6/28

★「東アジア祭り」の公演にゲスト出演★

11/4(北区王子)

★佐川急便からのお知らせ:4月21日から、送料は値上がりいたします。詳しいことは後にホームページにて通知いたします★

《家園》編集委員(第18号)

白 山 明 徳	河 村 忠 志
二 田 口 国 博	張 狄
春 曉	惟 遠
中 嶋 い つ 子	孫 妮
入 澤 美 和 子	
レイアウト	松本莉恵 張狄

編 集 後 記

早春逢雨,给人的感觉就是一个“冷”!但这冷雨按捺不住樱花的绽放,也没拦断人们赏花的兴致。

本会如期活动,38人冒着风雨前来。在教室里,摆上长桌,拿出自己家做的佳肴,满满铺上。我们举杯祝福好运,安暖!在一起这样开心:咏诗,放歌,起舞,弹琴,尽情尽兴。

在公园的樱花树下,大家相拥合影留下幸福的纪念。